

令和元年10月31日

各位

上場会社名 大宝運輸株式会社
代表者 代表取締役社長 小笠原 忍
(コード番号 9040)
問合せ先責任者 取締役管理推進本部長 大久保 知明
(TEL 052-871-5831)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和元年8月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

令和2年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成31年3月21日～令和元年9月20日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,300	170	170	80	106.39
今回修正予想(B)	4,370	227	240	176	267.91
増減額(B-A)	70	57	70	96	
増減率(%)	1.6	33.7	41.5	121.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成31年3月期第2四半期)	4,285	87	117	89	118.64

令和2年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成31年3月21日～令和2年3月20日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,600	320	320	160	212.78
今回修正予想(B)	8,600	310	320	200	267.36
増減額(B-A)	—	△10	—	40	
増減率(%)	—	△3.1	—	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成31年3月期)	8,386	194	228	153	204.60

修正の理由

第2四半期(累計)の業績は、営業収益は料金改定による増収が見込まれ前回発表予想を若干上回る見込みです。また営業利益、経常利益、四半期純利益は、料金改定による増収と燃料価額が若干下がったことにより増益見込みです。通期の業績予想は、営業収益は見込み通り推移する一方、11月10日に稼働予定の東郷コールドセンターの一時的な費用の増加を考慮し、上記の通り修正いたします。

以上